

# 【 第32回オリンピック(東京2020) 】

2021年7月24日～8月8日 日本・東京

## 試合結果報告 7 月 25 日 ( 日 )

JAPAN	vs	オランダ
10	1st	18
11	2nd	14
	ex	
	ex	
21	TOTAL	32

### 個人得点

No.	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
3	角南 果帆		1			1
4	角南 唯					0
5	塩田 沙代					0
12	板野 陽					0
18	田邊 夕貴	1	2			3
21	池原 綾香	2	1			3
24	原 希美	1	1			2
25	大山 真奈		1			1
27	佐々木 春乃	2				2
28	永田 しおり					0
30	亀谷 さくら					0
34	近藤 万春		3			3
40	藤井 紫緒	4	1			5
81	石立 真悠子		1			1
TOTAL		10	11	0	0	21

### 戦況

女子の開幕戦は、世界女王・オランダに日本が挑む試合。開始早々からオランダは高さスピードで、日本ディフェンスを翻弄、3分までに4-1と先手を取る。ここで日本は7人攻撃を仕掛けるが、ミスを連発して立て続けにエンペティゴールを許し、苦しい展開。相手退場のチャンスにも、相手GKの再三の好セーブに得点が伸びない。11分池原、13分に田邊と両サイドで加点、ようやくリズムが出る。以降は、取っては取られる展開で、点差を縮めることができない。オランダは、ポスト、カットイン、ミドル、サイドなど多彩な攻撃を見せるのに対して、日本は攻撃が中央に集中してしまい、前半は10-18と8点のビハインドで終了する。

後半立ち上がりには幸先よく藤井の7mTで先制するも、すぐにカットイン、ポストで失点、差が縮まらない。それでも、懸命のディフェンスで徐々にリズムが出ると、GK板野、亀谷にも好セーブが出始める。オランダも高さ強いディフェンスで、日本の攻撃を寸断、一進一退の攻防が続く。20分過ぎに国際公式戦デビューの近藤がサイド、速攻で連続得点を奪い盛り上がるシーンもあったが、オランダは全く動じることなく、冷静にプレーを続ける。最後まで1点を取りにいった日本だったが、女王の牙城は揺るがず、32-21で敗れた。

報告記入者 :

羽田 裕一